

TOTO 手洗器付トイレキャビネット (YSC46・46M・46N・46A・46AM・46AN)施工説明書

※製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって、正しく取り付けてください。
 ※同梱の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
 ※説明図はYSC46で記載していますが、取付要領は全品番共通です。

安全上の注意

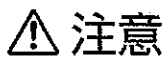
■安全のために必ずお守りください。

取付の前にこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しく取付けてください。この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容を次の絵表示で説明しています。



この絵表示は、してはいけない【禁止】の内容です。



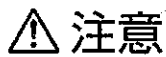
この絵表示は、必ず実行していただく【強制】の内容です。



警告



手洗器取付金具とキャビネットは確実にさん木に固定してください。
 (固定が不完全な場合、手洗器やキャビネットがたおれ、けがや重大事故の原因となります。)



注意



配水管に排水トラップ継手を差し込んで接続する際は、配水管の内側に接着剤を必ず塗布してください。(接着剤を使用しないと漏水します。)



給水ホースをつぶしたり、折り曲げたりしないでください。
 (漏水するおそれがあります。)

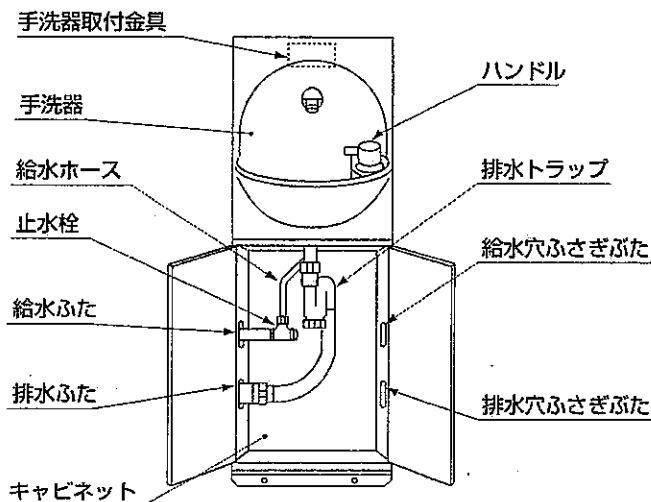
おねがい

給水圧力は0.05~0.74MPa {0.5~7.5kg f/cm²} です。この圧力範囲でご使用ください。

給水は、上水道に接続してください。
 中水道及び異物を多く含む水には使用できません。

施工が終わったら必ず各接続部から漏水のないことを確認してください。

各部のなまえ



※図のハンドルはYSC46・46M・46N(ハンドル式水栓)の場合です。

付属品の確認

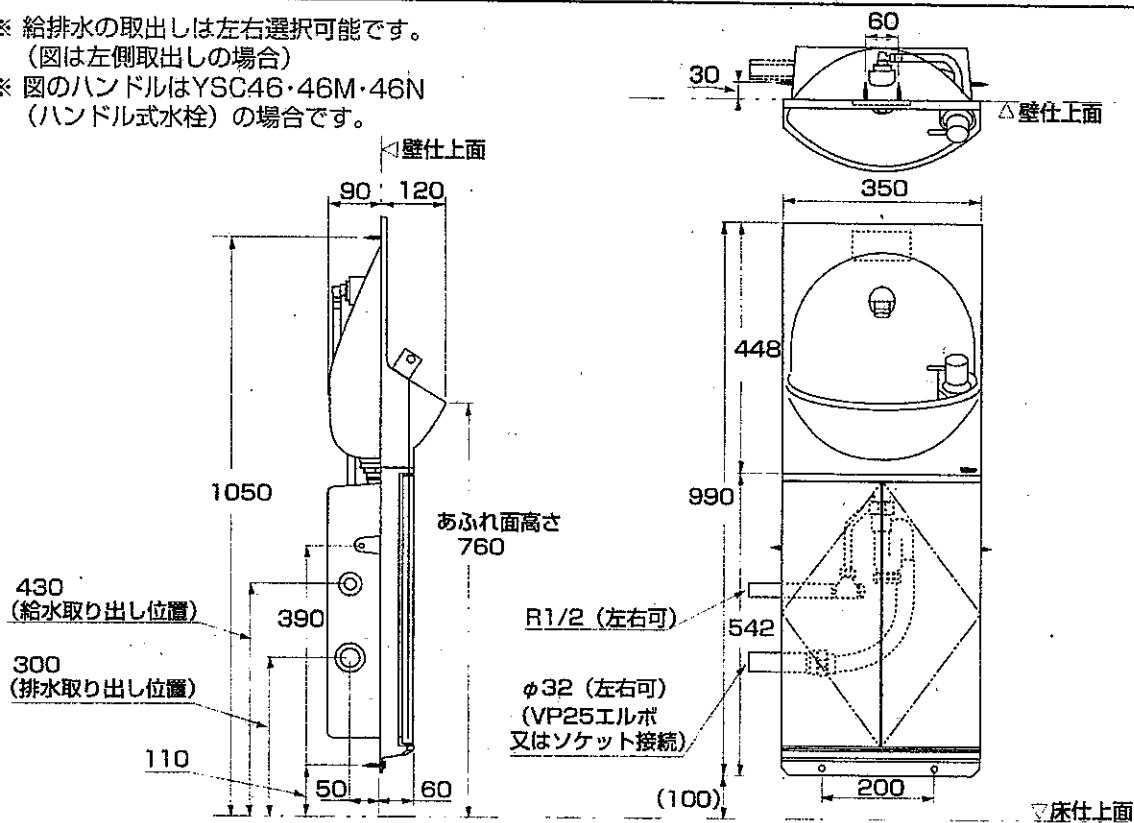
壁固定ネジ	なべ頭タッピンねじ φ4×30 ・手洗器取付金具用 3本 ・キャビネット固定用 4本
手洗器取付金具	1個
排水トラップ	1個
給排水ふた	各1枚
給排水穴ふさぎふた	各1枚
止水栓	1個
給水ホース	1本

YSC46A・46AM・46ANのみの付属品

六角レンチ (ハンドル取外し用)	1本
---------------------	----

製品寸法

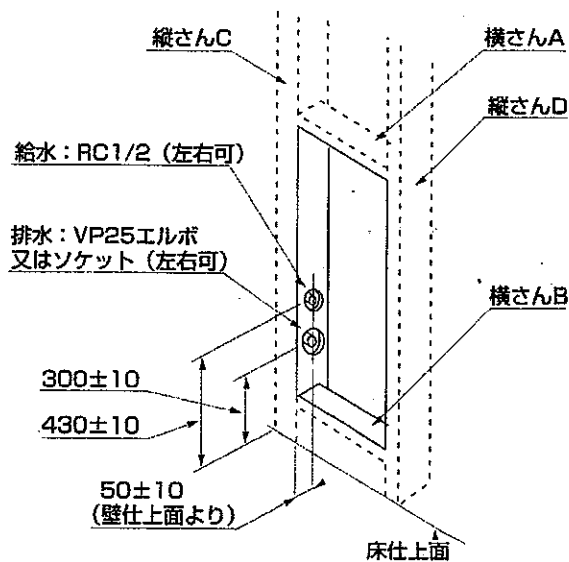
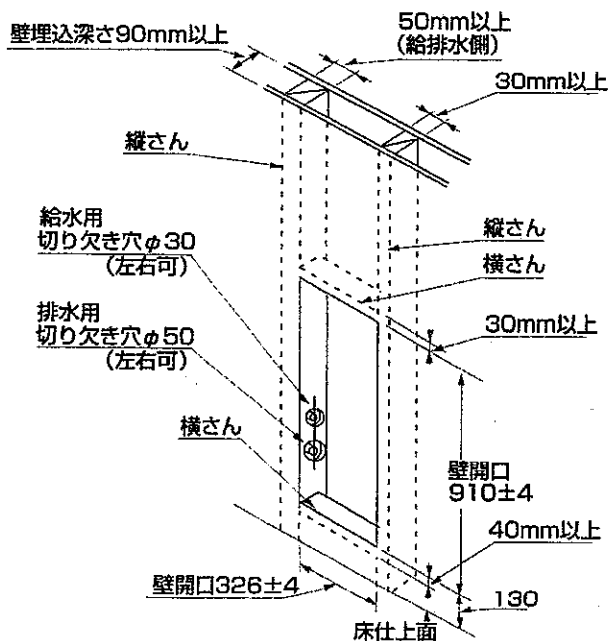
- ※ 給排水の取出しは左右選択可能です。
(図は左側取出しの場合)
- ※ 図のハンドルはYSC46・46M・46N
(ハンドル式水栓) の場合です。



取付前の準備

- 製品取付けのねじ固定用として、図のような縦さん・横さんが必要です。壁仕上げ前にあらかじめ設けておいてください。
- 製品取付けの壁開口は図の寸法で設けてください。
※ 壁埋込み深さは90mm以上必要です。

- 給排水は下図の寸法で取出してください。
※ 給排水の取出し位置は下図に示す公差に納めてください。
- ※ 給排水の取出しは左右選択可能です。
(図は左側取出しの場合)



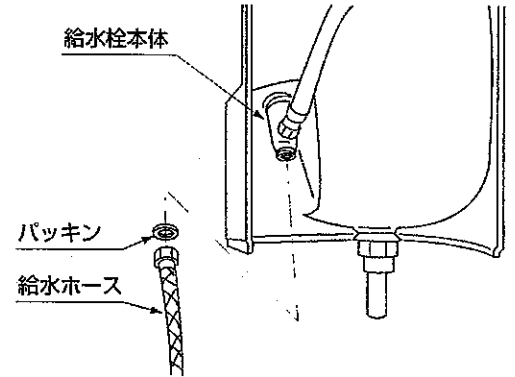
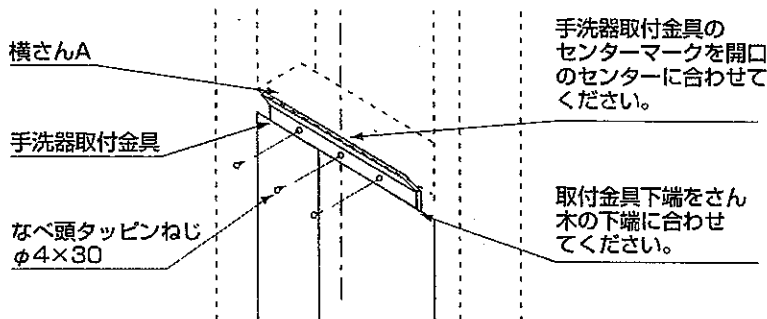
取付方法

(1) キャビネットと手洗器の取付

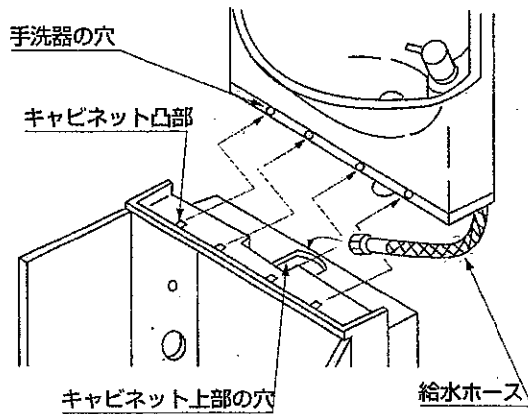
⚠ 警告

手洗器取付金具、キャビネットは確実にさん木へ固定してください。
(固定が不完全な場合、キャビネットがたおれ、けがや重大事故の原因となります。)

- ① 手洗器取付金具を横さんAに付属のタッピンねじ (なべ頭 $\phi 4 \times 30$ 、3本) で固定してください。
- ② 給水栓本体に給水ホースを接続してください。
※パッキンを必ず入れてください。



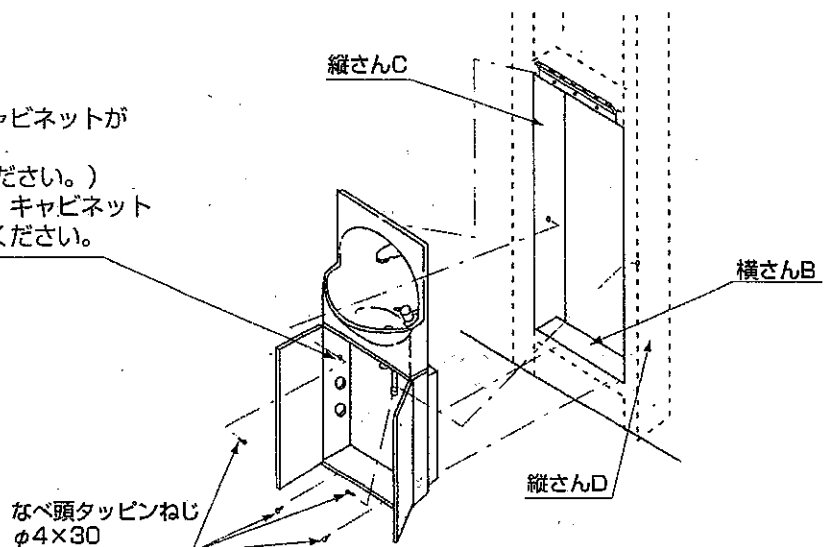
- ③ キャビネットの凸部を手洗器の穴に差し込んでください。



- ※ 給水ホースと排水金具をキャビネット上部の穴に通してください。
- ※ 壁内に埋込まれる給水栓本体及び給水ホースの防露対策を必要に応じて行ってください。

- ④ 手洗器を手洗器取付金具に引掛け、キャビネットを縦さんC・Dと横さんBに付属のタッピンねじ (なべ頭 $\phi 4 \times 30$ 、4本) で固定してください。
※手洗器が手洗器取付金具に確実に掛かっていることを確認してください。

- ※ 締めすぎに注意してください。キャビネットが変形することがあります。
(締めすぎた場合はすぐに緩めてください。)
- ※ キャビネットを壁に十分押しつけ、キャビネットと壁の間に隙間がないようにしてください。

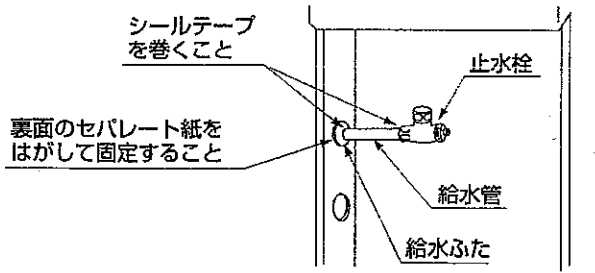


(2) 止水栓の取付

△注意

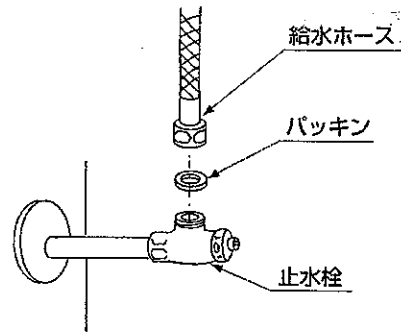
給水ホースをつぶしたり、折り曲げたりしないでください。(漏水するおそれがあります。)

① 給水管と止水栓を図のように取付けてください。



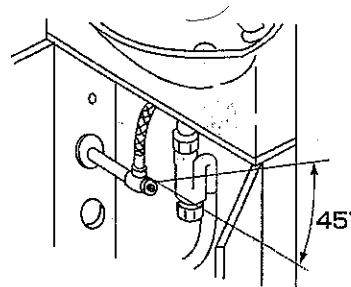
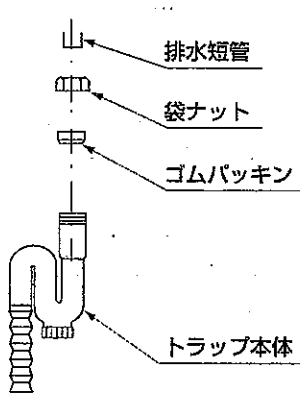
※ 給水管に付属の給水ふたを入れ、接続してください。
※ 接続部には、必ずシールテープを巻いてください。

② 給水ホースを止水栓に取付けてください。
※ パッキンを必ず入れてください。

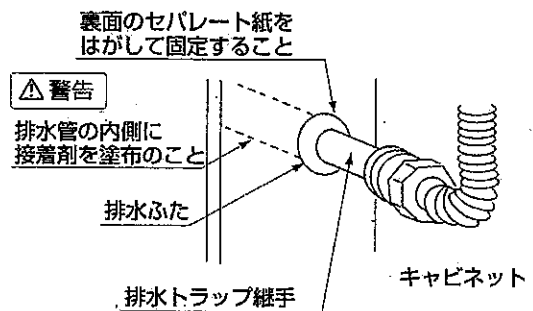


(3) 排水トラップの取付

① 排水トラップと排水トラップ継手を図のように取付けてください。



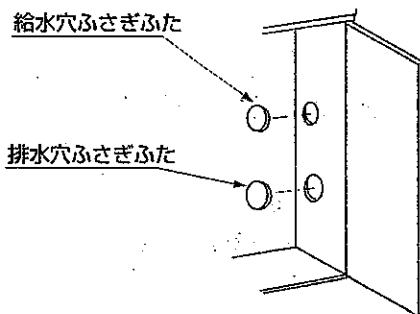
※ トラップは右斜め後ろ45°に向けてください。



※ 排水管 (VP25エルボ又はソケット) の内側に接着剤を塗布し、排水トラップ継手に排水ふたを入れて、排水トラップ継手を差込んでください。

(4) 給排水ふさぎふたの取付

① キャビネット内の使用しない側の給水穴、排水穴を付属の給排水穴ふさぎふたでそれぞれふさいでください。



通水の確認

■ 各接続部から漏水の無いことを確認してください。

■ 吐水量の調節

〔ハンドル式水栓の場合 (YSC46・46M・46N)〕

・ハンドルを全開にし、吐水量が5L/min程度になるように止水栓を回して吐水量を調節してください。

※ 約200mLの容器 (牛乳ビン等) が2~3秒でいっぱいになるのを目安にしてください。

〔オートストップ水栓 (自閉式) の場合 (YSC46A・AM・AN)〕

・取付当初、吐水時間は長め、吐水量は多めに出来ますが、数回の水出し操作で正常になります。

・吐水時間・吐水量のご確認は数回の水出し操作後行ってください。

・調節方法は同梱の取扱説明書をご覧ください。